

安曇野の原風景を巡る ふるさとウォッチングマップ

No.23

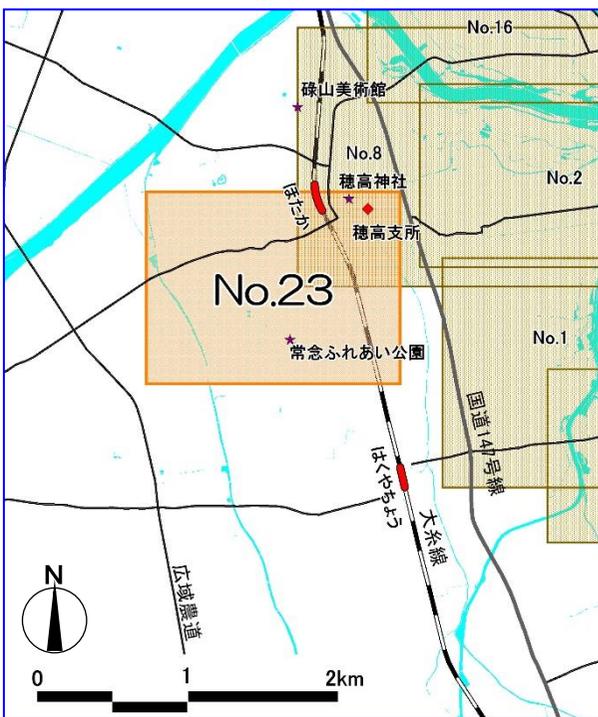
穂高本郷・田中地区

-彩色道祖神・屋敷林のある

安曇野の田園集落を訪ねて-

穂高神社の西側一帯に集落の展開する旧保高村の本郷・田中両地区には、古い農村民家の主屋と土蔵が今なお多く残り、豊かな屋敷林や生垣を目にすることができます。

彩色道祖神の鮮やかな色合いと屋敷林の緑のコントラストが、安曇野の典型的な農村集落のイメージそのままの風景として息づいているエリアです。



◆コースタイム ※時間は歩速3km/時としての目安です(休憩含まず)

スタート 常念ふれあい公園→約0.7km*14分→緑の小路と拾ヶ堰→約0.1km*2分→田中道祖神→約1.1km*22分→本郷の民家→約0.3km*6分→本郷郷倉跡と道祖神→約1.7km*34分→穂高神社→約0.8km*16分→宗徳寺→約0.4km*8分→ **ゴール** 常念ふれあい公園 【合計】約5.1km：1時間42分



※私有地への立入はご遠慮下さい。



(a) 田中集落の民家
敷地内にある土蔵とアカマツ



(b) アルプスの眺望
西側に広がる北アルプスの山並み



(e) 千国道
神社より南に延びる裏通り



(d) 本郷の小路
集落内にある落ち着いた雰囲気の小径



(c) 本郷(上手村)道祖神
毎春の道祖神祭りでは子供たちが彩色作業

NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
安曇野案内人倶楽部

※本マップは下記のサイトからダウンロード可能です
<http://azumino-sanpo.info/>

【注】マップ内の情報はふるさとウォッチングを開催した2016年4月17日現在の内容です。

①常念ふれあい公園

常念ふれあい公園は、地域住民の憩いの広場として開園した街区公園です。地域住民の意見も取り入れ整備された公園は緩やかな勾配が自然な感じで設けられており、滑り台など遊具の併設された小山からは常念岳をはじめとするアルプスの眺望がとても素晴らしいビューポイントとなっています。



常念ふれあい公園

③田中道祖神

捨ヶ堰のたもとに建立されている、彩色豊かな双体道祖神。穂高神社を中心とする周辺地区では双体像を彩色する風習が現在も残されていて、地区ごとに毎年決まった時期に道祖神祭りとして彩色が施されています。

北アルプスと捨ヶ堰の流れ、隣接する屋敷林の風景をバックにした写真スポットとして知られています。



田中道祖神

⑤本郷郷倉跡と道祖神

火の見やぐらの立つ広場付近はかつて保高村の郷蔵があった場所です。村の中心地ともいえる場所には、貝梅村(現貝梅地区)から移設した嫁入り道祖神が立っています。

雪の降り積もった日に本郷の若者たちが貝梅に出かけて道祖神を運び出し、さらに先方から酒の振る舞いを受けるなどもあったといわれています。



本郷郷倉跡と道祖神

⑦宗徳寺

開創は天正2年(1574)の曹洞宗のお寺。ご本尊は十一面千手観音菩薩座像。明治初年(1868)の廃仏毀釈により廃寺となりましたが、明治17年(1884)に再興。その間、学校として活用され、現在境内に「穂高美(ほたかみ)学校」の史蹟標柱が立てられています。近年、本堂と書院の改築工事が執り行われ、境内整備が大掛かりに実施されました。



宗徳寺

②緑の小径と捨ヶ堰

南北に通じる生垣に挟まれた細長い緑豊かな小径は、かつては堀金方面から穂高神社へと通じる道の一部として活用されていました。田中の集落内の一角には捨ヶ堰が流れますが、建物が多く堰幅も小さいため、こうした路地が人々の生活の道として活用されていたと考えられます。



緑の小径

④本郷の民家

本郷集落の北西端あたりに建つ、北面と西面に屋敷林の高層な樹木を控える民家。主屋は明治20年(1887)の建築で、かつては蚕を飼っていたという典型的な穂高の農家の建物です。明治20年代前半に大火があり、多くの建物が焼失し、その後再建されたものであるともいわれています。



屋敷林をもつ本郷の民家

⑥穂高神社

安曇野を代表する神社として地元住民だけでなく、大勢の観光客なども参拝に訪れます。

20年に一度、本殿を建て替える大遷宮祭の間に、本殿の修繕などを執り行う小遷宮祭が2度あります。1月の四至榊立神事に始まる小遷宮祭の祭事は、5月の寅の日寅の刻に行われる本殿の遷座祭でピークを迎えます。

【手洗石と手水舎・神橋：市有形文化財】



穂高神社

民家に残る養蚕の痕跡

一帯の民家の中には、江戸期に建てられた古い土蔵やかつて養蚕の業に利用されていたとされる石室が残されているお宅もあります。その一例をご紹介します。



3間×3間四方の地下室は、室温が一定に保たれるということから蚕種の孵化時期の調整や、桑の保管などに利用されていたそうです。



蚕室には2階で飼育する蚕の糞を外に掃き出すための排出口も設けられていることがあります。